

## 事業報告書（令和3年度）

事業名 音楽と朗読の世界でつながるプロジェクト

団体名 音楽と朗読の会「金星音読団」 担当者名 後藤智子

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

### 1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

【音楽とおはなしのコンサート in 東山公民館】

2021年7月31日 岡山市立東山公民館 40人

前日から風船、ガーランドでプロジェクターまわりが飾られ、ホワイトボードにはプログラムを書き込まれて会場準備がされました。

今回は40分もの。少し長いか、と心配していましたが、聴いてくださるお客さまが引き込まれていく様子を感じました。子どもたちの参加も多かったのですが、みな集中して、中には朗読の声の心地よさに静かに眠ってしまった小さい子もいました。

来てくださるかたが聴きやすいようにとパワーポイントで画像を映しながらの音楽朗読劇、新作の「ふたごの星」も、イメージしやすいようにイラストを作成してパワーポイントで投影しました。

参加型の読み聞かせ、「おおきなかぶ」の絵本プログラムには、コロナ感染を考慮して、ボディーパーカッションで参加を考えました。音楽の方ではメンバーの子どもたちが手伝ってくれて、子供たち同士の交流も生まれました。

楽器体験にもたくさんの方が音を出して楽しんでいました。



【音であそぼ！】

2021年10月17日 岡山市高野尻テラス 20人

コロナ禍のためにイベント中止が続く中、主催の方の思いもあって、延期延期でようやく開催となりました。テラスの前には主催者の方が、以前の音楽イベントで作られたパイプ、お釜、竹の楽器などの手作りの廃材楽器が並んでいました。

全員そろったところで楽器作り。マイバチをつくって、いろいろ叩いてみよう。そしてコンサートにも参加の予定です。マラカスの材料も準備していただきました。

楽器ができてきたら音が出始めます。リハーサルに手作り楽器のリズムが合ってきて、全体リハーサルになりました。

オープニングは、さっそく手づくり楽器を使ってのおもちゃのチャチャチャからはじまりました。

主催者の方にお手伝いいただいて、おおきなかぶの音楽よみきかせ。子どもたちにとって、いつも遊んでくれる主催者の方の読み聞かせ(本)は、安心した空気に包まれます。ボディパーカッション、「うんとこしょ、どっこいしょ！」の掛け声の応援も楽しいプログラムになりました。

ジブリメドレーはトランペットの「ハトと少年」から。一気にジブリの世界になりました。今日はシールドを使って、歌もあります。となりのトトロ、さんぽ、カントリーロードには子どもたちの楽器も加わりました。

ちょっと休憩をいれて後半は廃材を使った宇宙の音からの「星めぐりの歌」。雰囲気ガラリと変わり、みんな静かに聴きいています。

法被を着て、紅蓮華には、メンバーの子どもたちが水の剣、火の剣を作ってきてくれたの剣舞もありました。

そして最後はパプリカ。ダンスもあって楽しい時間でした。

終わってからは、マイバチをもって楽器を体験。法被や剣も大人気でした。

お昼ごはんのあとはまた楽器体験を続けました。手づくり楽器の不思議な音や、木琴、鉄琴、タンゴドラムの音を楽しんでいました。





(様式第8号)

【スタジオ録音】

2021年11月16日 音楽スタジオトリノス 参加者 6人

「セロ弾きのゴーシュ」の動画作成スタート。

まずは朗読を録音。

録音の様子を動画撮影。

時間を分けて、日にちをかえて、重ねていく予定。

2021年11月28日

チェロはクラシックの曲に変更。新曲を仕上げてのスタジオ録音。



【ウインターコンサート】

2021年12月11日 岡山市立上南公民館 参加者 20人

今回は金星音読団メンバー2人というステージ。ゲスト、サポートに3人の方が入ってくださいました。

お客さまはラジオやテレビで朗読は聴いたことがあるけれど、生での音楽朗読劇ははじめてとびっくりされていたり喜んでくださったり。特に男声の生朗読に驚いておられました。セロ弾きのゴーシュは今日は男声一人での朗読。音楽もサポーターさんに入っていて、いつもより音は少なかったのですが、今日しかできない演奏でした。

新見南吉の「手袋を買いに」シューベルトの子守歌が入りました。

後半のプログラムでは「おおきなかぶ」、「あわてんぼうのサンタクロース」で子どもも大人も一緒に参加してくださいます。お客さまがいて、一緒に、の空気の心地よさ。そして最後は会場からの歌声と演奏とが一体となっていき、「いのちの歌」ではチェロと歌とでピアノを弾きながら胸に込み上げてくるものがありました。



(様式第8号)

【おんがくとおはなしのクリスマスコンサート】

2021年12月18日 岡山市立東山公民館 参加者20人

東山公民館で活動する平井つくしんぼの会からのクリスマスイベントのご依頼でした。事前に打合せをして、内容の確認やつくしんぼの会で入れたい内容のお手伝い(サンタクロースの登場)、地域で活動する方々とお話ししたり、一緒にイベントを作る、「繋がる」感を感じたイベントでした。

参加者はいつもつくしんぼの会に参加されてきている親子さん。サンタのコスチュームを着て、今日を楽しみにされていた様子が伝わってきます。

おおきなかぶのお話に自分もお母さんをひっぱったり、クリスマスソングが流れると大きな声で歌ってくれたり、サンタクロース登場には自分もサンタカチューシャを整えてプレゼントをもらいに行ったり、イベントに一生懸命参加している姿がほほえましく元気ももらいました。





(様式第8号)

【たのしいおんがく】

2022年1月30日 Rapo Lab(ラポラボ)より YouTube ライブ配信

再生回数456回(3月7日)

コロナ感染の心配のため、8月のまん延防止措置が出された時より、オンラインでのイベントを考え始めました。

それに向けての動画制作も並行して準備をはじめました。

年が明けて新型株の感染の心配が強くなりました。今回は初めてのオンライン配信だったり、メンバーのうち、直前に二人の不参加が決まりましたが、動画を制作していたこと、メンバーの子どもたちが手伝ってくれたことで、無事ライブ配信をすることができました。1時間の配信でしたが、一緒に参加できるコーナーや、歌えるように歌詞を入れたり、アニメーションを合成したりしました。当日は、感染の心配なく、自宅で配信を見てくれた報告がたくさん上がってきました。配信後もアーカイブが残っていたため、400回を超える動画再生回数となり、現在も続いています。

コンサートの内容はアーカイブで公開しています。

[https://youtu.be/6x6i5K\\_xMuY](https://youtu.be/6x6i5K_xMuY)



【ゼロ弾きのゴーシュ YouTube 配信開始】

2022年2月28日 動画再生回数70回(3月7日)

今年度取り組んだゼロ弾きのゴーシュの音楽朗読劇全編を YouTube 配信開始しました。

<https://youtu.be/SrhMMpry33g>



2. ESD の視点を取り入れたところ、ESD の視点で見直したところ

子どもから大人までどの年代でも楽しめる音楽朗読劇を提供することで、様々な作品の世界に触れる機会を作った。また、幼児や子ども連れの家族が参加しやすいように座席前方は敷物を敷いて座って参加できるようにした。参加型プログラムを取り入れることで、より興味を持てるようにした。

3. 取組の成果 (参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など)

※事業内容が ESD にどう貢献したか等を記入してください。

ほとんどのイベントの後、参加者が「楽しかった」「またききたい」と感想を伝えに来てくれた。イベントの後の体験コーナーには子どもたちが楽器演奏の体験をした。物語や音楽に触れた体験を、実体験をすることでより印象深くできたのではと考える。

また、オンラインコンサートや配信をしたことで、様々な障害により参加しにくい方たちが、安心できる場所 (主に自宅) から作品に触れることができた。

4. 今後の課題と展望

視覚 (映像)、聴覚 (朗読、音) からの多様な表現方法を考え、体験型の方法を工夫することで、作品により印象深くかかわれるようにし、家庭に帰った後も物語や音楽が生活の中で活かされるようにしたい。

観客席を工夫したり、オンライン配信を使ったりすることで、にぎやかな場所や公共の場に参加しづらい方にも作品に触れる第一歩の機会を作っていきたい。